

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	子育て支援課
	施策	子育て家庭への支援		電話番号	087-839-2354
	基本事業	子育てと仕事の両立支援		事業実施主体	市
	事務事業	放課後児童クラブ事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	保護者が労働等により昼間家庭に居ない、小学校に就学している児童に対して、授業の終了後等に、小学校の余裕教室、児童館等を利用して適切な遊びおよび生活の場を与えて、その健全な育成を図るとともに、直営の事業を補完するため、学童保育を実施する社会福祉法人等に対して補助金を交付し、事業運営を支援する。
-------	--

30年度概要	公設46か所（うち民間委託1か所）94教室 学童保育（社会福祉法人等）に対する補助15団体 障がい児支援事業 クラブ巡回、支援研修 教室増3校区（栗林、太田南、林）
--------	---

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	1-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	------	----------	----	---------	-------------------

【事業の目的】

対象（何を）	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校1～6年に就学している児童
意図（どのような状態にしたいか）	児童にとっての安全な居場所を確保するとともに、遊びを通して自主性、社会性、創造性を向上させ、児童の健全育成を推進する。また、これによって保護者にとって安心して就労できる環境を整える。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
受入可能児童数	人		4,137	4,453	4,542	4,542

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
放課後児童クラブ入会率	%	目標値		94.1	98.5	97.5	100
		実績値		93.89	94		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 待機児童解消に向け、専用施設（プレハブ）や小学校の余裕教室等を利用し、施設整備を実施したものの、利用希望者の増により目標値を下回る結果となった。なお、子ども・子育て支援推進計画に掲げる量の見込みと確保量が、現実と乖離していたため、計画の中間見直しを図った。		(目標達成度) (達成度) 95.4% 33点					
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	612,979	701,664	877,627	834,794
（事業費）	[円]	581,503	669,475	846,520	803,687
（職員人件費）	[円]	31,476	32,189	31,107	31,107

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

教育委員会（小学校）の協力を得ながら小学校内の余裕教室等の活用などにより、施設整備を行うとともに、民間学童保育に対し助成を行い、受け皿の確保を行ったが、待機児童の解消には至っていない。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

校区ごとの量の見込みの増加に対応するため、公設による整備を基本とし、公設での対応が難しい地区については、民間事業者による整備を推進するなど、必要とする教室数を確保することにより、引き続き、平成31年度末での待機児童の解消を目指す。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	子育て支援課
	施策	子育て家庭への支援		電話番号	087-839-2354
	基本事業	子育てと仕事の両立支援		事業実施主体	市
	事務事業	放課後子ども教室事業		事業期間	平成28年度～平成30年度

【事業全体概要】

事業の概要	活動推進員、教育活動サポーターなどを配置し、学び、スポーツ、文化活動、地域の方々との交流活動等を行う。
	対象：小学校1年生～6年生 実施場所：小学校の余裕教室、体育館、運動場、図書室、コミュニティセンター等 実施時間：平日 放課後～午後5時、土曜日・日曜日等 午前9時～正午
30年度概要	放課後子ども教室事業の実施 38校区 / 47校区 継続 34校区 新規 4校区 放課後子どもプラン推進委員会開催 1回 子どもの居場所づくり指導者養成事業(研修会)開催 5回
重点取組事業	特別重点 市長マニフェスト 1- 事務事業の類型 ソフト事業(法律による実施義務無)

【事業の目的】

対象(何を)	小学校の1年生から6年生の児童
意図(どのような状態にしたいか)	子ども達が地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
開設延べ日数	日		1,592	1,607	2,000	2,000
放課後子ども教室実施校区数	校		33	34	38	47

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
参加児童数	人	目標値		45,000	48,000	51,000	51,000
		実績値		40,845	40,882		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 新規開設校区が目標値を下回ったことに伴い、参加児童数(延べ人数)も目標値を下回る結果となったが、前年度の水準は保つことができた。	(目標達成度)						(達成度) 85.2% 29点
登録児童数	人	目標値		3,200	3,400	3,600	3,900
		実績値		2,930	3,074		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 新規開設校区が目標値を下回ったことに伴い、登録児童数も目標値を下回る結果となったが、前年度の水準は保つことができた。	(目標達成度)						(達成度) 90.4% 31点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	34,590	35,725	32,991	37,119
(事業費)	[円]	20,771	21,593	19,334	23,462
(職員人件費)	[円]	13,819	14,132	13,657	13,657

【評価】

評価ランク (A～D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	拡充
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

新たに2校区の開設があったものの、継続校区のうち1校区では参加児童の減少や教室活動を担う人材の確保が困難となり閉室となった。継続校区では、人材の確保及び育成が課題であり、また、未実施校区では地域の関係団体を組織する構成員の高齢化が課題となり、新規開設校区の増加が困難となっている。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

実践的かつ多様な研修を実施し、人材を育成することにより、事業の充実を図るとともに、未実施校区の関係団体に対し、教室開設の働き掛けを継続し、新規開設校区の増加を図る。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども未来館
	施策	子育て家庭への支援		電話番号	087-839-2571
	基本事業	子育てと仕事の両立支援		事業実施主体	市
	事務事業	ファミリー・サポート・センター事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

**事業の概要**  
 仕事と育児の両立を支援するため、地域において育児の援助を受けたい人で行いたい人が会員となり、育児について相互に助け合つた会員（有償ボランティア）組織をつくり、その拠点となる「たかまつファミリー・サポート・センター」を設置し、会員組織の運営管理や相互援助活動の調整・支援などを行う。援助活動内容としては、保育施設への送迎、保育時間前後の子どもの預かり、保育園の病気の急用時、冠婚葬祭、上の子どもの学校行事など外出時の子どもの預かりなどがある。事業運営は、公募により特定非営利活動法人に委託実施。

**30年度概要**  
 登録会員数見込：2,600人（依頼会員1,850人、提供会員620人、両方会員130人）  
 援助活動件数見込：6,800件  
 会員養成講座：年間計3回開催、会員スキルアップ講座：年2回開催、会員交流会：年2回開催  
 ファミサボ通信：24・25号発行

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）
--------	------	----------	---------	-------------------

【事業の目的】

対象（何を）	育児などの援助を必要とする人と援助を行いたい人
意図（どのような状態にしたいか）	子育て家庭が仕事と育児を両立できる環境を整備し、地域ぐるみの子育て支援・児童健全育成を推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
センター運営延べ日数	日		299	308	308	308

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	ファミリー・サポート・センター事業利用件数	件	目標値		5,600	6,700	6,800	6,800
			実績値		6,686	7,413		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 平成29年度は、広報誌の発行や交流会の開催など、制度の周知に努め、目標を達成した。 (目標達成度)							(達成度) 110.6%
								35点
	ファミリー・サポート・センター登録会員数	人	目標値		2,600	2,600	2,600	2,600
			実績値		2,414	2,490		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 平成29年度は、広報誌の発行や交流会の開催など、制度の周知に努めたが、目標には達していない。 (目標達成度)							(達成度) 95.8%
								33点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	14,980	15,142	19,150	19,160
（事業費）	[円]	12,677	12,787	13,080	13,090
（職員人件費）	[円]	2,303	2,355	6,070	6,070

【評価】

評価ランク (A～D)	<b>A</b>	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	<b>継続</b>
-------------	----------	---------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

平成29年度末現在、相互援助活動件数7,413件、登録会員数は2,490人であり、前年度に比べ、活動件数、会員数ともに増加している。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

今後も講習会及び交流会を定期的に開催し、提供会員の層を厚くし、安定したサービスの提供に努める。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども園総務課
	施策	子育て家庭への支援		電話番号	087-839-2359
	基本事業	子育てと仕事の両立支援		事業実施主体	市
	事務事業	私立保育所運営支援事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	子ども・子育て支援新制度において、私立保育所に対し、法で定める公定価格に基づき、委託費を支払うとともに、私立保育所が保育を行うことに要する費用を支弁する。				
30年度概要	主な事業内容 1 一般運営費（基本単価、事務加算、処遇加算、施設機能強化加算など） 2 地域活動事業（世代間交流事業ほか） 3 延長保育 4 障がい児保育 5 地域子育て推進事業 6 一時預かり事業 7 その他（産休等代替職員賃金等補助金、保育所事業等補助金、保育体制強化事業、一時預かり利用者支援事業）				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型			

【事業の目的】

対象（何を）	私立保育所
意図（どのような状態にしたいか）	私立保育所が児童福祉法に定める最低基準を維持しつつ、安定的な保育が実施できるよう運営支援する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
運営費交付件数	件		38	39	38	38

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
待機児童数（4月1日現在）	人	目標値		279	0	0	0
		実績値		321	224		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） まだ待機児童が発生している状況である。							(達成度)
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	5,249,336	5,212,138	5,377,850	5,096,862
（事業費）	[円]	5,243,194	5,205,857	5,371,780	5,090,792
（職員人件費）	[円]	6,142	6,281	6,070	6,070

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

--

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

--

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども園総務課
	施策	子育て家庭への支援		電話番号	087-839-2359
	基本事業	子育てと仕事の両立支援		事業実施主体	その他
	事務事業	認可外保育施設支援事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	認可外保育施設に対し補助することにより、認可外保育施設に入所している児童の福祉向上を図るとともに、保護者の子育てに係る経済的負担の軽減を図るため、施設に入所している第2子以降の児童の保護者に対して補助する。また、一定の基準を満たす認可外保育施設を高松市すこやか認定保育所として認定し補助することにより、認可外保育施設の保育水準および入所児童の福祉の向上を図る。		
30年度概要	認可外保育施設に対し補助することにより、認可外保育施設に入所している児童の福祉向上を図るとともに、保護者の子育てに係る経済的負担の軽減を図るため、施設に入所している第2子以降の児童の保護者に対して補助する。また、一定の基準を満たす認可外保育施設を高松市すこやか認定保育所として認定し補助することにより、認可外保育施設の保育水準及び入所児童の福祉の向上を図る。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	認可外保育施設
意図(どのような状態にしたいか)	認可外保育施設に対する補助によって、保育水準及び入所児童の福祉の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
認可外保育施設補助金交付件数	件		8	7	6	8

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
待機児童数(4月1日現在)	人	目標値		279	0	0	0
		実績値		321	224		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) まだ待機児童が発生している状況である。(目標達成度)							(達成度)
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	30,873	48,430	54,014	41,079
(事業費)	[円]	24,731	42,149	47,944	35,009
(職員人件費)	[円]	6,142	6,281	6,070	6,070

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

補助金の手続きで、施設が提出する書類等に不備が多く、書類の差換えや説明に時間を要しているため、わかりやすい記載例などを作成・配布することで、事務量の軽減を推進する。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	子育て支援課
	施策	子育て家庭への支援		電話番号	087-839-2354
	基本事業	子育てと仕事の両立支援		事業実施主体	市
	事務事業	病児保育事業		事業期間	平成28年度～平成30年度

【事業全体概要】

**事業の概要**  
 児童が病気回復期（病後児）又は病気の回復期には至らないが、当面症状の急変が認められない場合で、まだ集団保育ができません保護者も仕事等の理由により家庭で育児ができない場合に、医院等に付設された専用スペースで一時的に預かることにより、保護者の子育てと仕事の両立、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進を図り、安心して子育てができる環境を整備する。

**30年度概要**  
 委託施設（医療機関5か所）（病児対応型）  
 トビウメ小児科・西岡医院・小林内科小児科医院・へいわこどもクリニック・しぶや小児科  
 直営施設（病後児対応型）  
 はらこども園

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型
--------	----------	---------


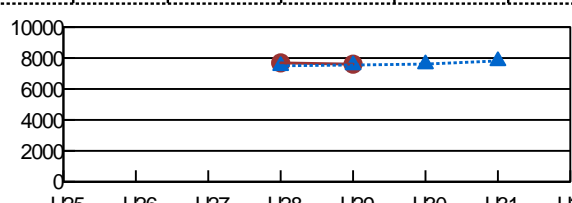
【事業の目的】

対象（何を）	小学校3年生までの児童とその親
意図（どのような状態にしたいか）	子育てと仕事の両立、仕事と生活の調和（ワークライフバランス）の推進を図り、安心して子育てができる環境を整備することを目的とする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
施設開設延べ日数	日		1,158	1,179	1,300	1,400

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
病児・病後児保育事業利用者数	人	目標値		7,500	7,550	7,610	7,610
		実績値		7,687	7,604		
<b>成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）</b> 女性の就労者の増加に伴い、病児保育のニーズが高まり、開設日数も増加した。昨年度より利用者は減少したものの、成果指標の目標は達成できた。 	10000						(達成度) 100.7% 35点
<b>成果指標名（どのような成果が得られたか）</b> 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[千円]	101,899	113,784	109,812	127,934
（事業費）	[千円]	95,757	107,503	103,742	121,864
（職員人件費）	[千円]	6,142	6,281	6,070	6,070

【評価】

評価ランク (A～D)	<b>A</b>	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	<b>拡充</b>
-------------	----------	---------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

病児・病後児保育室5か所で事業を実施し、保護者の子育てと仕事の両立、ワーク・ライフ・バランスの推進を図り、安心して子育てができる環境の整備を図った。  
 受入人数に限りがあるため、新たな病児保育施設の開設が必要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

病児保育室6か所開設を目標に新規開設施設を選定し、より利用しやすい病児保育を目指す。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども園総務課
	施策	子育て家庭への支援		電話番号	087-839-2359
	基本事業	子育てと仕事の両立支援		事業実施主体	市
	事務事業	小規模保育事業等地域型保育給付事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	子ども・子育て支援法第29条第1項に基づき、支給認定子どもが特定地域型保育事業者から特定地域型保育を受けるに要した費用について地域型保育給付費を支給するもの。		
30年度概要	小規模保育事業等地域型保育給付費（特別保育事業を含む） 13施設		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	地域型保育事業所
意図（どのような状態にしたいか）	地域型保育事業所が、子ども・子育て支援法に定める最低基準を維持しつつ、安定的な保育が実施できるよう運営支援する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
給付支給先事業数	件		4	9	13	3

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	待機児童数（4月1日現在）	人	目標値		279	0	0	0
			実績値		321	224		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） まだ待機児童が発生している状況である。（目標達成度）							(達成度)
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） （目標達成度）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[千円]		170,198	311,525	490,956
（事業費）	[千円]		169,413	310,766	490,197
（職員人件費）	[千円]		785	759	759

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

--

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

各事業の利用状況の把握に努め、地域の教育・保育に係る提供体制を確保し、新制度を円滑に施行する。